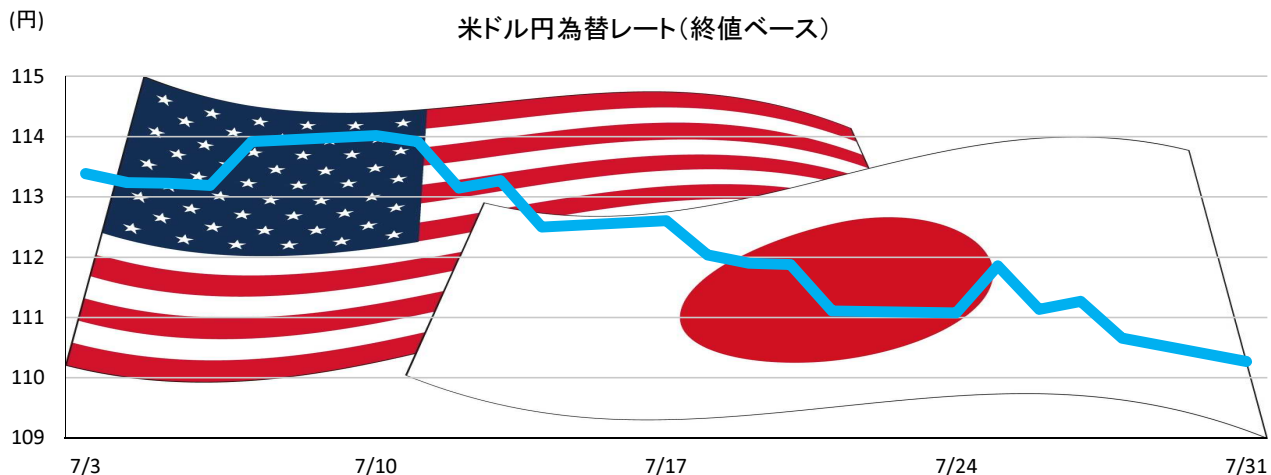


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 7月のドル円相場は、114円半ば～110円前半で推移。良好な米国経済指標や金融政策への期待感からリスク選好の流れが続いていたが、イエレンFRB議長による議会証言の内容から利上げに対して慎重な見通しとなったことや米連銀の要人が利上げを急がない姿勢を示したこともありドル高の流れが一転しドル安方向へシフトしていった。さらに安倍政権、トランプ政権とも支持率が低下してきたこともリスク回避の円買いドル売りにつながっており、月末発表の米GDPが市場予想を下回る結果だったことや北朝鮮によるミサイル発射という地政学リスクと相まってドル円は110円割れ寸前まで円高ドル安が進行することとなった。



EXTRA VISION

今後の展開: 6月のFOMC後、利上げ期待感から続いていたドル高もイエレンFRB議長が早期利上げに慎重な見解を示したことやトランプ政権の政治リスク、北朝鮮のミサイル発射による地政学リスク、経済指標が予想より悪かったことなど、積極的にドル買いとはなりにくくなっている。さらに国内海外とも夏季休暇ということで相対的に取引参加者が少なくなることから、いつも以上に経済指標発表等による変動リスクに対処できるようにしておきたい。お盆明けから9月前半にかけては特に注視すべき指標発表が毎週のように控えている。秋相場に備えた準備をしておいた方が良さだろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
8 / 30 (水)	21 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
9 / 1 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
9 / 5 (火)	18 : 00	EU	欧州GDP確定値	☆☆☆☆
9 / 7 (木)	20 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
9 / 8 (金)	8 : 50	JP	日GDP改定値	☆☆☆☆
9 / 14 (木)	20 : 00	GB	英中央銀行政策金利	☆☆☆☆
9 / 15 (金)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。